

- 主な内容
- 2……ふるさとい〜な
 - 3……アドバンスコープADSホール催物、国津の杜の行事
 - 4……やなせ宿催し、「皇學館大学ふるさと講座」受講者募集

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

市史だより×広報なばり 合同企画

「新田開発」

約340年前に作られた「新田水路」で運ばれる水は、現在も、新田地区の米作りに欠かせません。

今号では、「新田水路」が作られた歴史的背景などを紹介します。また、現在も水路を守る、新田区水利組合の堀川秀昭組合長に、日ごろの維持管理や、新田水路に対する思いを伺いました。

総務室市史編さん担当 ☎64・2249

『古事記』や『日本書紀』にも記述される「美濃原」

名張市の北東部地域を「美旗」地区と呼んでいますが、この「美旗」という地名は、明治の町村制



施行によりできた「美濃波田」と呼ばれています。美濃波田という村名は、新田地区の古地名である「美濃原」と「小波田」をつなぎ合わせたものなのです。この「美濃原」という地名は非常に古く

『古事記』や『日本書紀』にも記述されています。美旗地区と言えは、美旗古墳群(国史跡)が有名ですが、この前方後円墳が築かれている一帯は、『日本書紀』の持統天皇3年(689)の条に「美濃原の禁野」として記述されています。「禁野」とは、皇室の狩猟場もしくは薬草の採集地として守護人を置いて、一般の立ち入りを禁じた場所です。

約360年前、藤室藩が新田開発に乗り出す

このように古代においては、大和朝廷の直轄地として保護され、

また、小波田川の右岸に広がる河岸段丘の丘陵地帯で未熟なかんがい技術では開墾が難しいという地形的なことも相まって、長く原野として放置されていましたが、江戸時代、この地を治めていた藤室藩が新田開発に乗り出します。

今から約360年前の承応3年(1654)に上野にいた加判奉行加納藤左衛門直盛は、同役の三浦少之介とともに美濃原とも小波田野ともよばれた原野の開拓を立案し、津の二代目藩主藤室大学頭高次の許可を得て、翌年から土木技術者の家臣西島八兵衛の指導のもとに新しい村づくりに着手しました。まず、かんがいで用として当初は滝之原村内に大池を、上小波田村内に東ノ狭間池を築造して水利の便を整えました。滝之原の池は今「池底」という字名をとどめるにすぎませんが、東ノ狭間池は今も水をたたえています。これら一連の工事には、名張藤室家領の村々や上野をはじめ伊賀国内から延べ2万2900人が動員されました。

池に変わる新たな水利工事 約14キロメートルの水路築造

こうして誕生した伊賀郡新田村は、近隣からの移住者が入植し、一時は戸数2百軒を数えました。しかし、何分、地方に乏しい開墾地であり、村方の借金も生じ、加えて池の災害にも見舞われました。そこで大阪の豪商安井九兵衛の出資を受け開墾事業が進められていくのですが、明暦4年(1658)には用水源であった



用水確保に尽力した加納親子の遺徳をしのんで創建された「加納神社」

東ノ狭間池の堤防が切れ、小波田本田が冠水、新田村の御蔵(年貢用)や庄屋屋敷が流失、開拓の功労者である加納直盛が延宝元年(1673)に病死、延宝3年には大池の堤防決壊による大被害が生じてしまいました。いずれも梅雨時のことで、この延宝3年の水難を受けて、前年に父の後を継ぎ加判奉行に就任していた加納直堅が指揮をとり、池の修復を行うのではなく、新たな水利工事が始められました。これが今に残る新田水路なのです。

太郎生の尼ヶ岳に発する水を、高尾の出合で取水して、小川内・川上・羽根を経て新田へ通じる近隣では類を見ない約14キロメートルにわたる水路の築造でした。

残念ながら新田水路の工事については史料が少なく、詳しいことは、分からない部分もありますが約2年の歳月を費やし延宝5年ごろに完成したといわれています。

難工事は、地元では直盛、直堅のおかげと伝えられています。新田水路が完成した三年後、不幸にして直堅は、天和元年(1681)備中(岡山県)石塔山銅堀事件にかかわって切腹することになりましたが、新田の人々は、この父子二代にわたる村の創設と用水の確保に永世忘れることのできない崇敬の念を持ち続け、加納父子の遺徳をしのんで享保16年(1731)に「加納大明神」として加納神社を創建しました。新田地区と同地区の水利組合は今も毎年11月7日に伊賀市の大超寺にある直盛の墓前に詣で、加納神社の霊前に感謝の念をささげています。

村の創設と用水確保に現在も感謝の念を捧げる

新田地区の生命線である水路の



「新田文書」(市立図書館蔵)

2ページには、新田区水利組合長のインタビューを掲載